



6年生を送る会 ～6年生に皆の思いが届きました！～ 2/25(金)

5年生が中心となり、6年生を送る会を行いました。これまで交流できる機会が少なかったため、直接6年生に思いを届けたいと、6年生には体育館に常にもてらいい、各学年が入れ替わる形で6年生に動画のメッセージやプレゼント（一人ひとりに記名入り）を届けました。

6年生に向け、下級生たちよりこんな言葉が伝えられました。「一緒に遊んでくれてありがとう。」「体カテストを手伝ってくれてありがとう。」「いっぱい助けてくれてありがとう。」「毎日楽しい放送をありがとう。」「代表委員会の進め方が上手でした。」「体育集会かっよかったです。」…。

6年生に感謝の思いは届いたことと思います。中心となってこの会を企画・運営した5年生も見事な活躍でした。

皆が温かい気持ちで笑顔になれる、すてきな会となりました。

プログラム

- 1 はじめの言葉(5年)
- 2 各学年からのメッセージ
2年→4年→3年→1年→5年
- 3 6年生へのプレゼント
- 4 児童代表の言葉(5年)
- 5 6年生からの言葉(6年)
- 6 校長の言葉
- 7 終わりの言葉(5年)
- 8 6年生退場



各学年からのメッセージ(2年)



各学年からのメッセージ(1年)



児童代表の言葉



6年生からの言葉



6年生へのプレゼント

6年生に聴く ～6年生アンケートより～

卒業を前に6年生に聴きました。しっかり考え、答えてくれました。

6年生の思いを皆で引き継いでいきます。

1 開成南小学校の皆の誇れる所、自慢できる所

- | | | | |
|--------------|-----|-------------|-----|
| ① きれい・広い・新しい | 39人 | ⑤ 給食がおいしい | 10人 |
| ② すてきさんがたくさん | 15人 | ⑥ 笑顔があふれている | 8人 |
| ③ みんなが元気いっぱい | 13人 | ⑦ 助け合い・仲よし | 5人 |
| ④ あいさついっぱい | 11人 | ⑧ 木が生かされた校内 | 4人 |



2 卒業を前に在校生に伝えたいこと(抜粋)

- ① これからも笑顔あふれる楽しい学校にしてください。 25人
もっともっとすてきさんを増やしてください・すてきさんあふれる南小で。 25人
 - ② これからもきれいな南小で。 6人
 - ③ 小学校生活を楽しんでください。みんな仲良く過ごしてください。 5人
- その他 ・勉強もスポーツも100%でやったら楽しくなるよ。
・すてきな本に出会って。・あきらめないで続けると自分の力になるから頑張る。
・みんなもたくさん南小の自慢できる所やすてきな所をみつけてほしいです。

3 将来の夢

- | | | | |
|----------------|----|--------------------------|----|
| ① 幼稚園や小学校の教師等 | 9人 | ④ 人の役に立つ・優しい人 | 3人 |
| 医者・看護師・薬剤師等 | 9人 | ⑤ 人を楽しませる人 | 2人 |
| ② 人を笑顔にする人(職業) | 7人 | その他 信頼できる人をつくる・何事もあきらめない | |
| ③ プロ野球選手 | 4人 | 誰かの心の輝きになる・頼られる人 等 | |

総合的な学習～その後、ご協力ありがとうございます～

I 4年1組 2/24 (木)

これまで町内の様々な公園のごみを拾い、ポスターを掲示し、ごみをなくす活動に取り組んできた4年1組に、パレットガーデンの自治会長さんから依頼がありました。ロンちゃん公園にも駅前公園と同様にポスターを掲示したいとのことで、さっそく児童は自治会長さんにお話を伺うとともに、どのようなポスターを作ったら効果的か調べるため、ロンちゃん公園の調査にでかけました。自分たちの行動が認められたこと、地域の方役に立てることに喜びを感じた子どもたちです。ポスターはもうすぐ完成予定です。



II 5年4組 2/25 (金)

お米づくりでお世話になった府川さんの開成町産の日本酒づくりの全工程を見学、応援してきた5年4組。府川さんがこの日にサプライズで訪れ、できあがったばかりの日本酒「あしがり郷 風の道」を見せてくださいました。開成町のあじさいの花酵母を使い、府川さんの開成町産のお米で、開成町の瀬戸酒造で造った、まさに開成町産のお酒です。60年ぶりにできた町のオリジナルのお酒で、今後欧州や中国にも輸出されるようです。

製造工程や府川さんの思いを学んできた子どもたちは「おーすごい!」「飲みたい!」などととても感激していました。府川さんから「みんなの成人式の時に樽で持って行くよ!」と声をかけてもらい、喜んだ子どもたちでした。



III 5年1組 3/2 (水)

町を盛り上げるため阿波おどり連協会会長井上さんから阿波おどりを学び、自分たちのできることを考えてきた子どもたち。この日はこの夏の35周年で行う企画やアイデアを井上会長さんに提案しました。

提案内容

- ・オリジナルキャラクター作り
- ・オリジナルグッズ作り
- ・チラシ、ポスター作り
- ・スタンプ、クイズラリーの実施
- ・ライブ中継

それぞれ現状の課題を分析し、その対策として理由を添えて提案しました。会長さんが連協会の会議にこの案をもっていかけてくださり、よい案は採用していただけることになっています。この夏、阿波おどり、そして開成町が盛り上がると嬉しいです。



IV 3年1組 3/7 (月)

これまでみんなが笑顔になれるオリジナルパンづくりの活動に取り組んできた3年1組。この日は町内のパン屋さんをお願いし、卵アレルギーの人でも食べられ、開成町らしいカエルパンを共同開発し、そのパンをいただきながら、パンパーティーを行いました。

お店の定休日のこの日、朝3時から作り始め11時に焼きあがったカエルパン、最後の仕上げをチョコペンでそれぞれが目や口を描き入れ完成です。「かわいい!」「すごくおいしそう!」「夢みたい!」など感激の子どもたち。食べたあとの感想は次のとおりでした。

「中のチョコが濃厚でおいしい!」「パンがふわふわ!」「卵を使わなくてもすごくおいしい!」「小麦の香りがした!」「自分で完成できてうれしい!」店長さんからも「皆さんの意見を取り入れて皆さんと一緒にパンを作りました。貴重な経験をさせてもらって嬉しかったです。」とお言葉をいただきました。

途中で頓挫しそうになりながらも、保護者や地域の皆様、パン屋さんの多大なご協力により、オリジナルパン作りが実現できました。ありがとうございました。願いは努力や工夫で叶う事を実感できた子どもたちです。

なお、このパンは期間限定(3/12~31)数量限定で「3年1組カエルパン」としてお店で販売して下さることになりました。



朝会 (教頭の話) 3/1(火)

「配られたカードで勝負するしかないのさ」 スヌーピー

今回のオンライン朝会は津田教頭の話。話の中心は、幼少期に出会ったこのスヌーピーの言葉。当時は意味があまりわからなかったが、研修でいった大学の授業で再び出会い、その意味を考えたとのことです。

次のメッセージを児童に届けました。

『何々ができない。』『自分だけ人と違う』『大切な人と会えなくなった』…生きていけばそういうこともあるでしょう。それも全部自分に配られたカードです。配られたカードを嘆いても、他の人と比べても、うらやましがっても意味はなく、大切なのは、『自分の今の状況を精一杯に生きること』です。皆さんもどうか、今の状況を精一杯幸せに生きてほしいと思います。そして、精一杯生きている人を見くんだりせず、一緒に喜んだり助けたりできる人でいてほしいです。みんなで協力して『今の状況を精一杯幸せに生きていける学校』にしていきたいと思います。』

